

掲示板のことば

・ 春
・ なの
・ のに

2019. 04

みなさんは、この後にどのような言葉が続きますか？ おそらく、あまりよくないことですよ。

春は、桜や菜の花が咲いて、彩がきれいで、お花見して、暖かくなってきた、明るくて、心がウキウキして、楽しくて…、と、いいことづくしの季節のように思えますよね。だから、「なのにな…」と、暗い気持ちになったり、悲しい気持ちになる、そんな自分はかわいそうだと。

80年代のアイドル、柏原芳恵さんの歌に、「春なのに」という曲があります。作詞は中島みゆきさんにより、「春なのに お別れですか 春なのに 涙がこぼれます 春なのに 春なのに ため息またひとつ」という歌詞が印象的な、卒業による別れの歌ですね。

春という季節は、別れもありますが、出会いもあります。ですが、なぜ「春なのに…」となってしまうのでしょうか。

それは、比べているからでしょう。自分が思い描いている「春」というイメージと比べ、楽しそうにしている他人と比べて、「それなのに自分は」と自分で自分を縛り、評価してしまっているのです。

でも、春も私も、本来は自然（じねん）であると教えられています。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹